

生存圏学際新領域の 開拓に 向けた

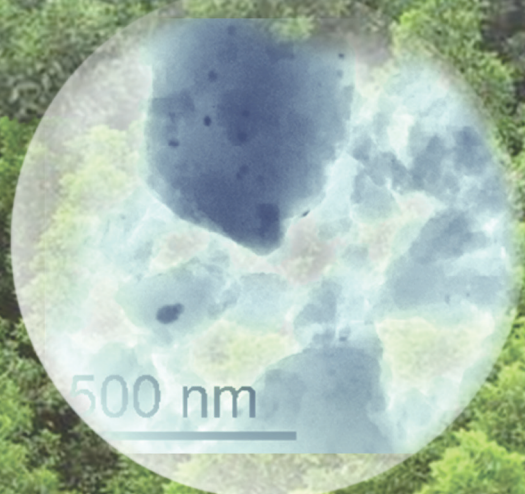
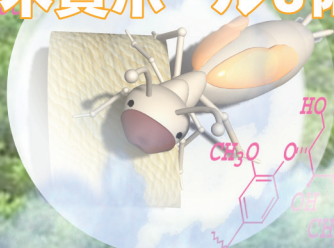
萌芽ミッション シンポジウム

第28回 生存圏シンポジウム

平成18年3月2日(木)

午後1時から

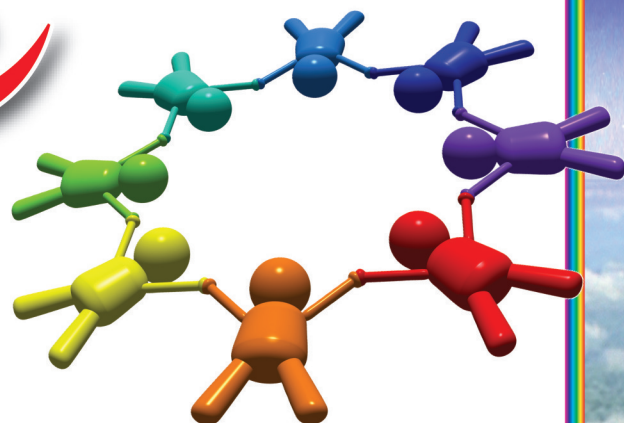
生存圏研究所木質ホール3階



主催：京大生存圏研究所

連絡先：生存圏学際萌芽研究センター

今村祐嗣 (0774-38-3666)



萌芽ミッションプロジェクト研究報告

マイクロ波照射による植物遺伝子の
発現変動に関わる分子生物学的解析

山本恭子・矢崎一史 (生存圏研究所)

分光反射指標を用いた
ヒノキ人工林における炭素固定機能の評価

中西理絵・小杉緑子・谷 誠 (農学研究科)

アカシア人工林における気象環境に関する
調査研究—広域の雨量の時空間分布—

林 泰一 (防災研究所)

生物肥料効果が期待される
難水溶性リン酸塩の可溶化能力が高い菌類の選抜

服部武文 (生存圏研究所)

ホウ酸は何故シロアリに有害か

東 順一 (農学研究科)

ミッション専攻研究員研究報告

● 廣岡 孝志
植物を用いた内分泌攪乱物質の環境浄化

● 古本 淳一
熱帯域における森林・大気相互作用に関する研究

● 田邊俊朗
微生物・電磁波複合系による木質資源変換

● 坪内 健
Statistical properties of geomagnetic storms
for a long-term space weather forecast

● 小島 陽一
遺伝子発現を指標としたスギの各種材質特性の解明

● 古屋伸秀樹
廃棄保存処理木材の無害化
—ヒ素の除去による毒性の低減—